

「働くこと」について考えを深めよう ～議論を通して～

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力
他者とのかかわる力 自己形成力

単元について

1 生徒観

表1・表2は、6月に行った生徒アンケートの結果である。本学級の生徒は、課題を解決しようとする意欲(表1の①)や自分の考えを積極的に伝える意欲(表1の④)が高い一方で、進んで情報を収集する意欲(表1の②)が低いことが課題である。また、思考力・判断力・表現力(表2)については、2学年全体に比べて本学級の生徒は相手に分かりやすく伝えることが苦手な生徒が多い。このことから、本校で設定した「育てたい資質・能力及び態度」については、「主体的に学ぶ力」と「思考力・判断力・表現力」に課題があると言える。

表3は、職場体験学習前に行った生徒アンケートの結果であり、「働くこととはどういうことだと思うか」について意識調査をしている。「お金をかせぐこと」と答えた生徒が最も多かったが、そう答えた生徒の中には「お金をかせぐこと」以外の回答をした生徒もいた。また、回答の理由は、あまり具体的でないものが多い。

表1 「課題発見・解決学習」に係るアンケート結果(肯定的評価の割合)

質問項目	本学級
①授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思います。【課題設定】	74.4%
②授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。【情報の収集】	60.0%
③授業では、比較・分類・関連付けして、何が分かるかを考えています。【整理・分析】	65.0%
④授業では、自分の考えを積極的に伝えています。【まとめ・創造・表現】	70.0%

表2 思考力・判断力・表現力に係るアンケート結果(①の方がレベルが高い)

評価基準	本学級	2学年
①自分の考えを、学習した用語や図、表、グラフを用いて、分かりやすく伝え、相手を納得させることができます。	23.1%	26.7%
②自分の考えを、学習した用語や図、表、グラフを用いて、分かりやすく伝えることができます。	35.9%	44.9%
③自分の考えを、学習した用語や図、表、グラフを用いて伝えることができます。	33.3%	21.8%
④まだ③の段階に達していない。	7.7%	6.7%

表3 「働くこと」に関する意識アンケート結果(複数回答可)

回答	生徒の人数	そう答えた理由
①お金をかせぐこと	29人	お金がないと生きていけないから。生活する上で大切だから。 など
②世の中や他の人の役に立つこと	20人	役に立つことで人間関係の発展になるから。 働くことは、誰かを助けたり、支えたりすることがあると思うから。 など
③自分の夢をかなえること	12人	自分の夢をかなえたいから。 働いていたら、いつか自分のやりたかったことができると思うから。 など
④他の人とつながりをもつこと	12人	人とかかわらない仕事はないから。 みんなで助け合って、関わりを増やし、つながりを広げていくから。 など
⑤やりがい	9人	人から感謝されたりするとやりがいを感じるから。 働いて成功したり、大きな結果を出すとても楽しくなり、やりがいを感じられるから。 など
⑥自分を成長させること	15人	いろんなことをすることで自分が成長できるから。 今までできていなかったことなどができるようになるから。 など

2 単元観

本校の総合的な学習の時間の学習単元は、前期「地域理解・社会貢献」、後期「自己探究」を位置付けている。2学年の前期単元では、地域で働く人の様々な思いや考え方を感じ取り、地域の人々と共に働くことを通して、今の自分に足りない力や態度を自覚し、自らの職業観や勤労観を育み、その成果を生活の中で生かそうとする学びの中で資質・能力及び態度を育てることを目指した。本単元は、前期単元で考えたことを振り返り、さらに「働くこと」についての考えを深め、今後の生活や進路設計につなげるために、他の生徒と意見を交流することを通して、身に付けさせたい資質・能力及び態度を育てることを目指している。

また、本単元では、次の2つの場面で課題となっている「思考力・判断力・表現力」「主体的に学ぶ力」を身に付けさせる。1つ目は「働くこと」について、自分が特に大切だと考えることを根拠を持って説明する場面である。2つ目は、他の生徒と協働したり、様々な考えに触れたりする場面である。

このような単元の学習を進めることを通して、生徒は「働くこととはどういうことか」について、自らが学んできたことを、これからの生き方につなげていこうとする態度や価値観・倫理観も高まっていくのではないかと考えこの単元を設定した。

3 指導観

指導にあたっては、自分の考えを積極的に伝える意欲が高いという学年や学級の良いところを生かしつつ、課題となっている「思考力・判断力・表現力」と「主体的に学ぶ力」を高めるために、本単元ではグループでプレゼンテーションを行わせる。プレゼンテーションでは、データ等の客観的な根拠をもとに、相手を納得させられる主張をしなくてはならないため、生徒は自分の考えを根拠を持って説明する必要がある。また、グループで行わせることで、他の生徒と協働したり、様々な考えに触れたりすることができる。

それぞれの学習過程における指導のポイントは、次の通りである。

「課題の設定」の場面では、前期単元とのつながりを持たせ、今後の学習活動への意欲を高める。そのために、職場体験学習を振り返り、「働くこと」について考えをイメージマップにまとめ、前期単元で作成したものと比較することで自分の考えの変化や深まりに気付かせる。また、自分にとって特に大切なことは何かを選択させることで、自己決定の場とし、学習意欲を高めていく。

「情報の収集」の場面では、情報を集める方法を理解させ、多くの情報の中から「必要な情報を取り出す力」を身に付けさせる。そのために、情報源の例を提示したり、グループでどんな情報をどのように集めればよいのか話し合わせたりする。

「整理・分析」の場面では、集めたデータをどのように使えばより説得力のあるプレゼンテーションができるか、グループでしっかり話し合わせることで、次の学習活動につなげていく。

「まとめ・創造・表現」の場面では、学級内や同じテーマ同士など、プレゼンテーションを何度も行い、アドバイスと改善を繰り返させる。また、学級代表のグループのプレゼンテーションについては、学級全員で修正を行わせ、より多くの意見を取り入れさせる。

「実行」の場面では、学年全員の前で代表のグループがプレゼンテーションを行い、代表以外の生徒との間で質疑応答を行わせたり、プレゼンテーションの後、学習前と比べて考えが変わったことや深まったことを発表させたりすることで、「働くこと」についてより考えを深めさせる。

「振り返り」の場面では、毎時間行っていた振り返りをもとに行うことで、単元を通してどのような力が付いたのか等、具体的に振り返らせる。また、これまでの学習過程で行った学級や他のグループの生徒などの他者からの評価も活用して、振り返らせる。

単元 の 目 標

前期の職場体験学習を振り返り「働くこと」についての定義づけを議論することを通して、働くことについての価値観や倫理観を深め、今後の生活や進路設計につなげようとする態度を養う。

育てたい資質・能力及び態度における評価規準

資質・能力及び態度		評価規準
知識・技能	知	①プレゼンテーションの方法を理解し、実践している。
思考力・判断力・表現力	思	①集めた情報をもとに、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 ②よりよいプレゼンテーションを行うために、表現の仕方や使う資料を改善している。 ③相手が納得できるように分かりやすくプレゼンテーションを行う工夫をしている。
主体的に学ぶ力	主	①職場体験学習を振り返り、「働くこと」について自分の考えを深めようとしている。 ②よりよいプレゼンテーションを行うために、グループ内で主体的に意見を出している。 ③代表のプレゼンテーションを聞いて、考えが深まったことや見出した新たな考えを主体的に発信している。
他者とのかかわる力	他	①グループで協力してよりよいプレゼンテーションを作成しようとしている。 ②「働くこと」について、他者の意見を聞くことで、自分の考えを深めたり、新たな考えを見出したりしている。
社会貢献力	社	
自己形成力	自	①単元を振り返り、「働くこと」について自分の考えを持ち、自分の進路につなげようとしている。

単元と評価の計画

1 年間の指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「働くことと向き合おう～職場体験学習を通して～」 (57時間)						「働くことについて考えを深めよう～議論を通して～」 (13時間)					
	地域理解・社会貢献						自己探究					

2 単元と評価の計画

小単元名	学習過程	時数	○学習内容 ・学習活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連	
「働くことについて考えを深めよう～議論を通して～」	課題の設定	1	○職場体験について振り返り、体験前と体験後の「働くこと」への考えの変化を交流する。【本時】 ・写真を見て職場体験を思い返し、職場体験を終えての感想を交流する。 ・ブレインストーミングにより「働くこと」からイメージできることをイメージマップにまとめる。	【主－①】 (行動観察) (自己評価表)		
	情報の収集	2	○自分にとっての「働くこと」の意味を根拠を持って説明する。 ・ブレインストーミングで出した意見をクラスで共有し、分類する。 ・分類をもとに、個人でランキングを作成し、交流する。	【思－①】 (行動観察) (自己評価表)		
	課題の設定	3	○同じテーマになったグループ内で、プレゼンテーションの方法を考える。 ・どんな資料が必要か、どう言えば説得できるかを考える。(・宿題として、必要な資料を分担して収集する。)	【主－②】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 魅力的な提案をしよう	
	整理・分析	4	○資料を分析する。 ・プレゼンテーションの中での位置づけを考える。	【思－②】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 魅力的な提案をしよう	
	まとめ・創造・表現	準備	5	○同じテーマになったグループ内で、プレゼンテーションの準備をする。 ・資料や原稿を作成する。 ・発表の練習をする。	【他－①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 魅力的な提案をしよう
			6	○クラスでプレゼンテーションを行う。 ・主に発表の仕方について相互評価を行い、改善点をアドバイスしあう。	【知－①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 魅力的な提案をしよう
		7	○他クラスの同じテーマのグループ同士が集まり、プレゼンテーションを行う。 ・主にプレゼンテーションの内容について相互評価を行う。 ・テーマごとの代表を選出する。	【思－③】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 魅力的な提案をしよう	
		8	○クラスでプレゼンテーションの修正を行う。 ・修正点と改善策をワークショップ形式で話し合う。 ・クラス内で分担してプレゼンテーションの修正を行う。	【思－②】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 魅力的な提案をしよう	
		9	○学年でプレゼンテーションを行う。 ・各テーマの代表がプレゼンテーションを行う。 ・他の生徒はプレゼンテーションを聞き、考えが深まったことや新たに見出した考えについて交流する。	【他－②】 【主－③】 (行動観察) (自己評価表)	⇔【国語】 魅力的な提案をしよう	
	振り返り	13	○単元を通して学んだことを振り返る。 ・単元を通して身に付いた力について考え、次年度の進路選択につながるようまとめをする。	【自－①】 (行動観察) (自己評価表)		

本時の学習展開

1 本時の目標

職場体験学習を振り返り、「働くこと」について自分の考えを深める。

2 本時の評価

評価規準	評価基準	
職場体験学習を振り返り、「働くこと」について自分の考えを深めようとしている。 【主-①】 (行動観察) (自己評価表)	A	「働くこと」について職場体験学習の前後で自分の考えが変化したり深まったりしたことを学級全体に向けて発表している。
	B	「働くこと」について職場体験学習の前後で自分の考えが変化したり深まったりしたことを小グループの中で発表している。
	C	「働くこと」について職場体験学習の前後で自分の考えが変化したり深まったりしたことを感じている。

3 学習展開 (1限目/13)

学習過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り
	学習活動			指導上の留意点		評価規準 (評価方法)
導入	1 職場体験学習を振り返る。 ①写真を見て体験を想起する。 ②職場体験学習で感じたことや学んだことを発表する。 <予想される生徒の反応> ・働くことは予想以上に大変だった。 ・事業所の方がお客様のためにいろいろと考えているということが分かった。 ・自分も将来〇〇として活躍したいと思った。			①次の活動で発表しやすくなるよう、明るい雰囲気をつくる。 ②実習ノートを用意させ、想起しやすくする。		
	2 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ・「働くこと」についてクラスでイメージマップを作る。 ・職場体験学習の前後で「働くこと」について考えが変化したり深まったりしたことを話し合う。			・掲示物を作成し、視覚支援を行う。		
【本時のめあて】 職場体験学習を振り返って、「働くこと」についての考えを交流しよう。						
展開 ①	3 「働くこと」についてイメージマップを作る。 ・学級全体で黒板に作る。			・事前に個人でイメージマップを作成させておく。 ・テンポよく発表させる。		
	4 前期単元で作ったイメージマップと比較し、違いを感じ取る。 ①前期単元で作ったものと比較する。 ②前期単元で作ったものとどう変わったか発表する。			①前期単元で作ったものに比べてイメージマップが広がっていることを評価する。 ②イメージの広がりやの違いに気付かせる。		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開②</p>	<p>5 職場体験学習の前後で、「働くこと」について考えが変化したことや深まったことを話し合う。</p> <p>①ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で、「働くこと」とはどういうことだと考えるか。その理由も考える。 ・職場体験学習前と比較して、考えがどのように変化したり深まったりしたか。 <p>②小グループで意見を交流する。</p> <p>③学級全体で発表する。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前はお金をかせぐことだけだと思っていたが、世の中の役に立つことという考えもあることに気付いた。 ・職場体験をして、「働くこと」とは自分を成長させることだとより実感した。 ・事業所の方が接客をしているところを見て、「働くこと」とは他の人とつながりをもつことだと感じた。 	<p>①・机間指導を行い、個別にアドバイスを する。 ・特別支援学級の生徒には、介助者が つく。</p> <p>②「話し合い活性化カード」を用いて、質 問等をさせ、考えを深めさせる。</p> <p>③傾聴させる。</p>	<p>職場体験学習を振り返り、「働くこと」について自分の考えを深めようとしている。</p> <p>【主-①】 (行動観察) (自己評価表)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p>	<p>6 後期単元の学習の流れを知る。</p> <p>7 本時の振り返りをする。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回イメージマップの2回目を作って、前よりイメージが広がっていて嬉しかった。 ・職場体験学習に行って、「働くこと」とはどういうことなのか、前よりも分かった気がする。 ・友だちと話し合っ、自分では思いつかなかった考えを知ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物を作成し、視覚支援を行う。 	